

都道府県へのイメージと興味の生起に関する研究

秋田大学 学生会員 ○成田 圭佑
秋田大学大学院 正 会 員 日野 智

1. はじめに

地方圏から大都市圏への人口流出が過疎化と少子高齢化の要因となり、地方都市の維持が困難となることが懸念されている。そこで、移住・定住者の増加、さらに、移住者の増加につながることを期待され、関係人口の創出が求められている。関係人口は「興味」「訪問」「活動」「二地域居住」「移住」の5つの段階に分かれており、「興味」の生起が関係人口の創出と拡大に必要な要素と考えられる。そして、興味の生起にはその地域に対するイメージが影響するものと考えた。本研究では、居住地以外の都道府県への「興味」の生起とその都道府県に対するイメージに相関があること、そして、影響する因子を明らかにすることを目的とする。

2. 意識調査及び調査対象地区の概要

本研究では、秋田市在住者を対象に都道府県のイメージに関する意識調査を行った。調査は秋田市内4地区において令和2年12月に実施した。調査票は900部を配布し、273部を回収した。回収率は30.3%であった。調査では、個人属性と回答者自身のイメージの良い都道府県上位2つとそのイメージ、秋田県に対するイメージを質問している。

3. イメージによる都道府県の分類

(1) 都道府県に対するイメージ

本研究では、都道府県に持つイメージと興味の相関を調べるために、意識調査で回答者自身が良いイメージを持つ都道府県とそのイメージを調査した。調査で特に多くの票が得られた都道府県は、北海道65票、岩手県26票、宮城県81票、東京34票、神奈川県33票、京都府33票、沖縄県22票であった。このように、良いイメージである都道府県は様々である。そこで、本研究ではこれらの都道府県のイメージによる分類を行う。分析手法は数量化理論Ⅲ類を採用した。

(2) 数量化理論Ⅲ類によるイメージの分類

本研究では、良いイメージを持たれることに影響する要因を明らかにするために数量化理論Ⅲ類による分類を行った。その結果を図1に、各項目のカテゴリスコアを図2、図3に示す。相関係数は第1軸が0.49、第2軸が0.45であった。第1軸を「都市的－自然的」、第2軸を「賑やか－穏やか」と解釈した。

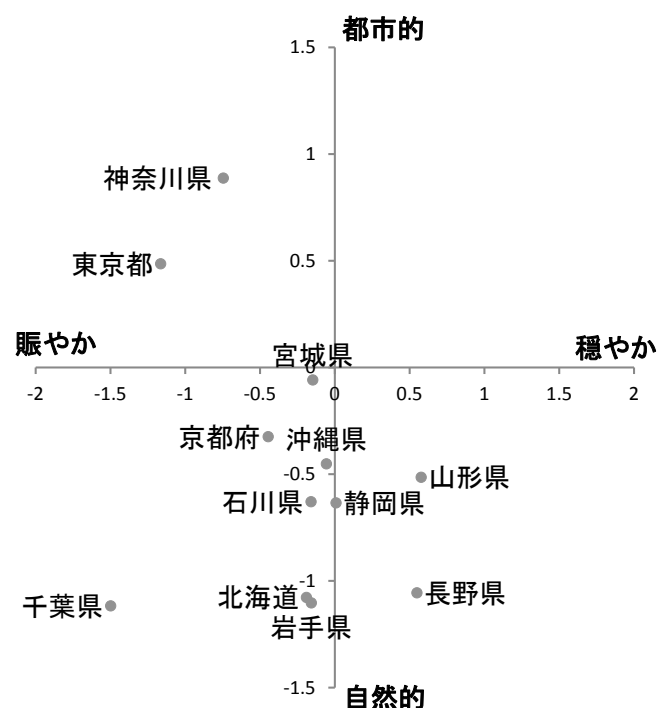


図1 数量化理論Ⅲ類による分類

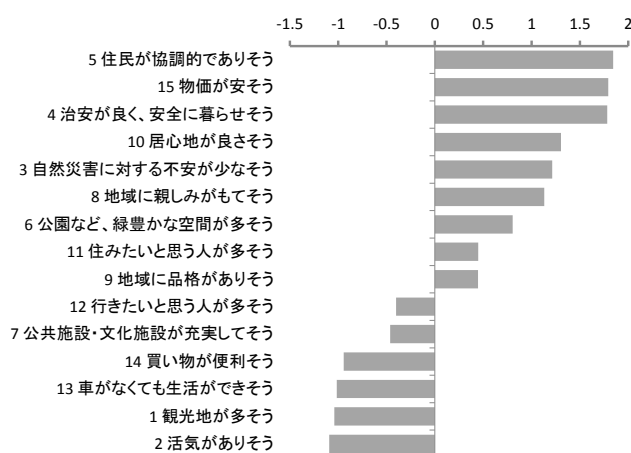


図2 第1軸のカテゴリスコア

キーワード：関係人口、地域振興、イメージ分析、意識調査分析

連絡先：〒010-8502 秋田市手形学園町1-1、TEL(018)889-2359、FAX(018)889-2975

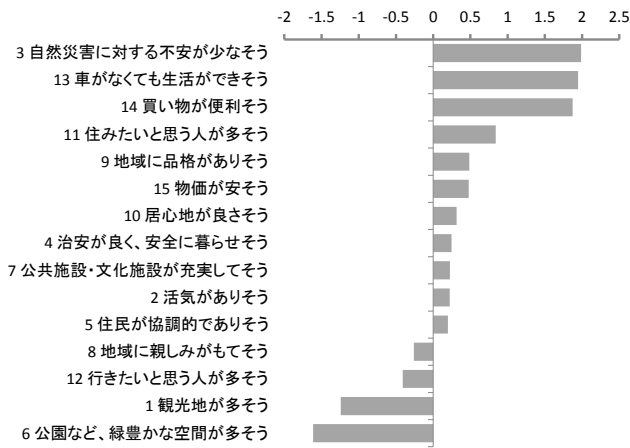


図3 第2軸のカテゴリスコア

また、図1に良いイメージを持っている都道府県として15票以上得られた都道府県のサンプルスコアの平均値をプロットし、グループ分けを行った。第2象限の東京都・神奈川県を「都市型」、第3象限の北海道・岩手県は「観光型」、第4象限の山形県・長野県は「自然型」、原点付近の宮城県・石川県・静岡県・京都府・沖縄県は「バランス型」と解釈した。すなわち、良いイメージといっても全てが同一ではないといえる。しかし、都道府県の特長からある程度のグループに分けることが可能である。

4. 秋田県のイメージ改善方策

次に、秋田県のイメージ戦略について考察を行うため、秋田県を含めた数量化理論Ⅲ類による分析を行った。その結果、秋田県は原点と宮城県の近くにプロットされた。よって、秋田県は宮城県のようなイメージ戦略を行うことが有効であると示唆された。そのため、秋田県と宮城県に対するイメージの差異を把握する。回答者が秋田県と宮城県に持つイメージで、特に差が見られた項目を図4、図5に示す。「自然災害に対する不安が少なそう」「治安が良く、安全に暮らせそう」「住民が協調的でありそう」「物価が安そう」の4項目で、宮城県より秋田県の方が「そう思う」と回答した人の割合が高くなった。また、個人属性別の都道府県に持つイメージの差を明らかにするために、テレビ、SNSで他都道府県の情報を見た経験の有無によるイメージの差を図6、図7に示す。その結果、多くの項目でテレビ等から情報を得る人は「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合が高くなった。このことから、テレビ、SNS等を利用した情報拡散は有効であることが示された。

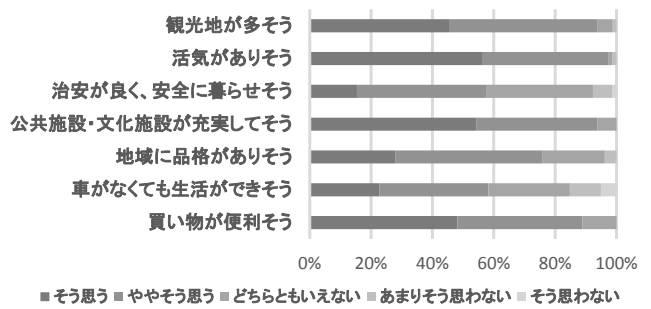


図4 宮城県に対するイメージ

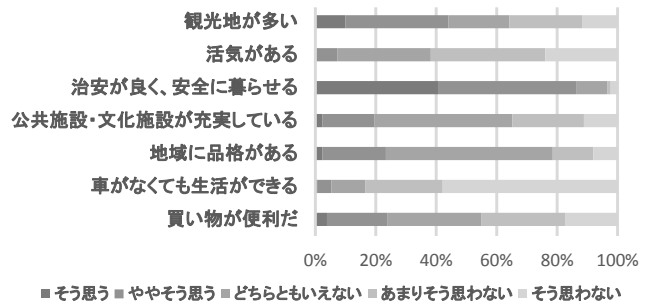


図5 秋田県に対するイメージ

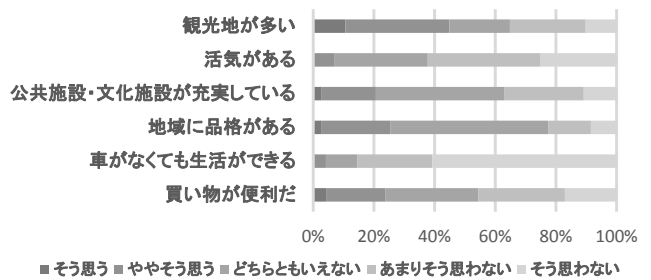


図6 テレビ等で情報を見る回答者のイメージ

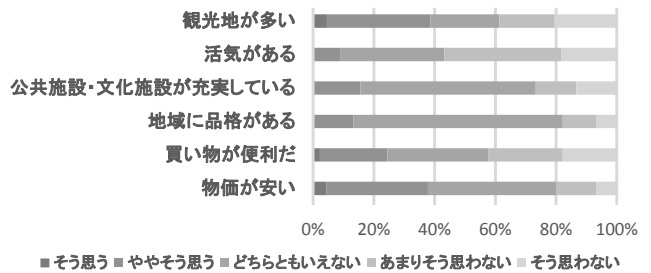


図7 テレビ等で情報を見ない回答者のイメージ

5. おわりに

本研究では、都道府県に持つイメージに関する相関の把握や興味の生起に関する考察を行った。その過程で、良いイメージに影響する要因によってグループ分けが可能であり、本研究では軸を「都市型－自然型」「賑やか－穏やか」、都道府県の分類を「都市型」「バランス型」「観光型」「自然型」と解釈した。また、秋田県のイメージを良いものとするためには、テレビ、SNS等で情報拡散をすることが有効であると示唆された。今後は、これらのイメージと「興味」の相関をより明らかにすることが課題である。